

東日本大震災対応とBCP

2014年3月7日

テルモ株式会社

松村 啓史

テルモの紹介

医師らが発起人となって設立された企業

1921年(大正10年)

体温計を国産化するために、
北里柴三郎博士をはじめとする
医師らが発起人となり1921年に設立

社名の由来

「体温計」を意味するドイツ語から命名

“Thermometer” (テルモメーター)



国産体温計の標準器



北里柴三郎博士(1853~1931)

破傷風毒素の免疫抗体を発見、
血清療法を確立、ペスト菌を発見、
伝染予防に尽力

“日本の近代医学の父”と呼ばれる

3つの事業分野



心臓血管事業

- カテーテル治療領域
- 心臓血管外科領域



血液システム事業

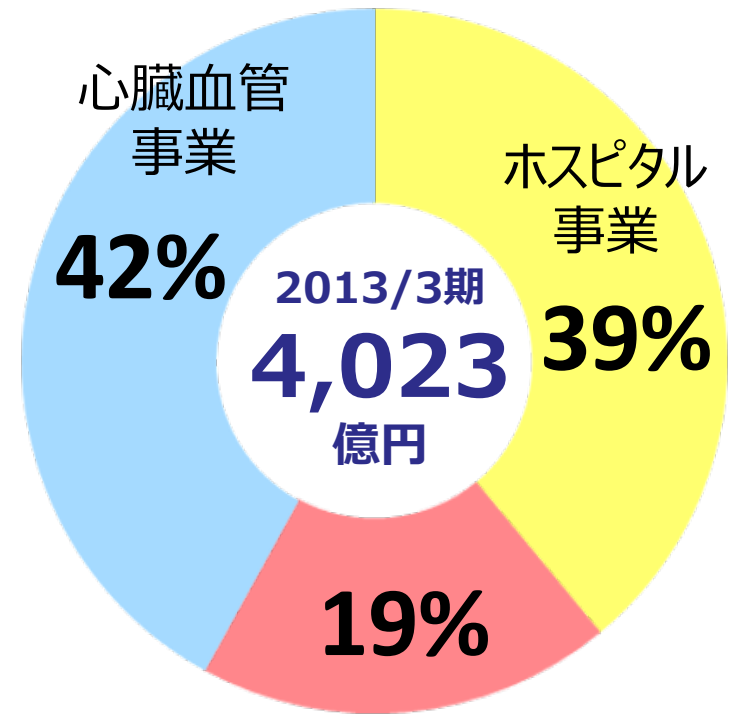
- 輸血製剤化システム
- 血液治療領域
- 細胞培養システム



ホスピタル事業

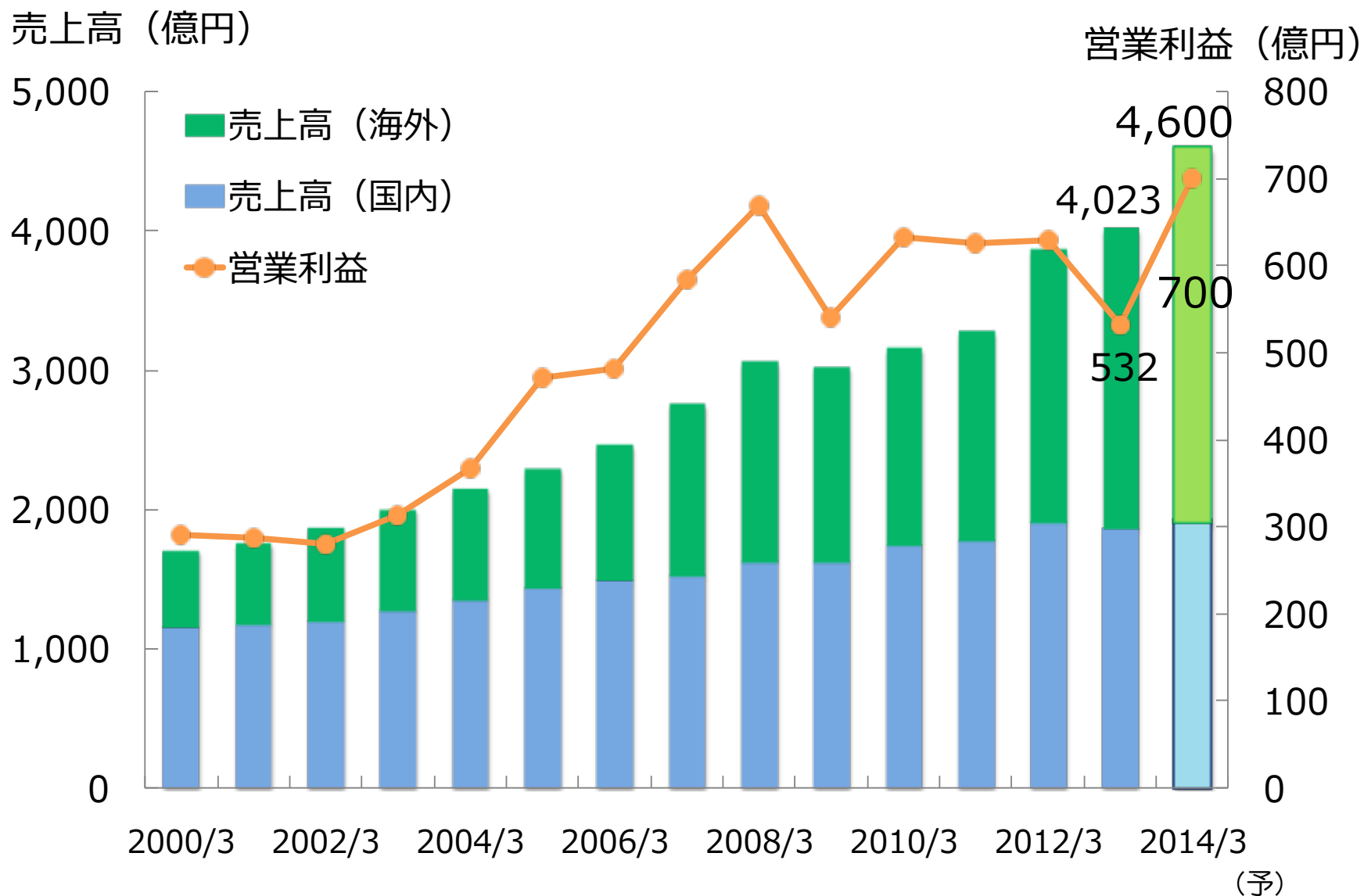
- 輸液領域
- 糖尿病治療
- 栄養領域
- 在宅医療
- がん・疼痛
- 健康管理

売上高構成比



血液システム事業

売上高・営業利益推移

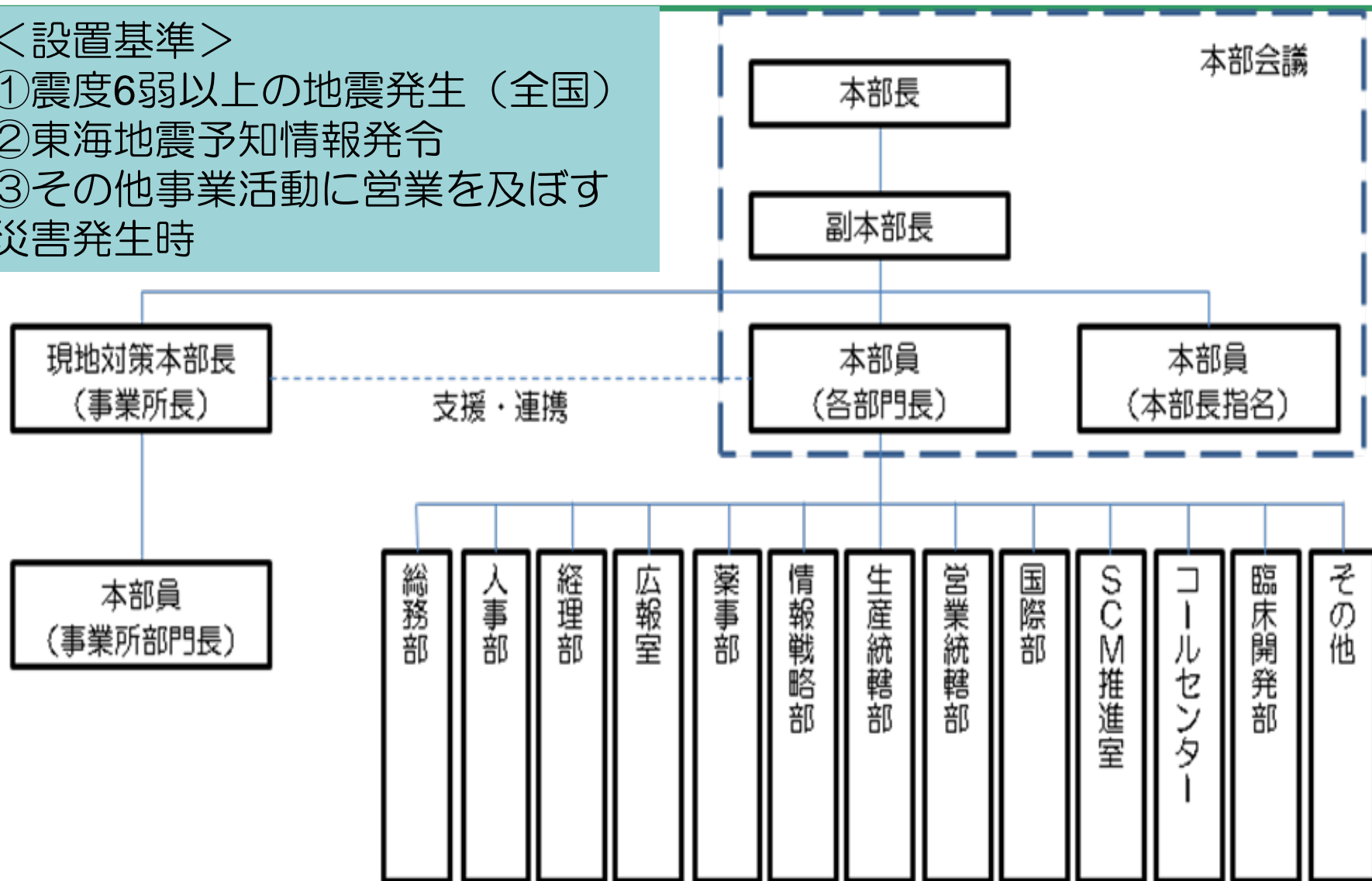


危機管理体制

災害対策本部

<設置基準>

- ①震度6弱以上の地震発生（全国）
- ②東海地震予知情報発令
- ③その他事業活動に営業を及ぼす災害発生時



震災後の対応

- 仙台支店の移転
- 工場への自家発電機 計5基導入
- 素材の確保
- 受注センターの東西二重化
- 災害時の物流計画の策定
- データセンターの東西二重化
- 山口工場新設
- 海外生産の拡充

受注センターの東西二重化

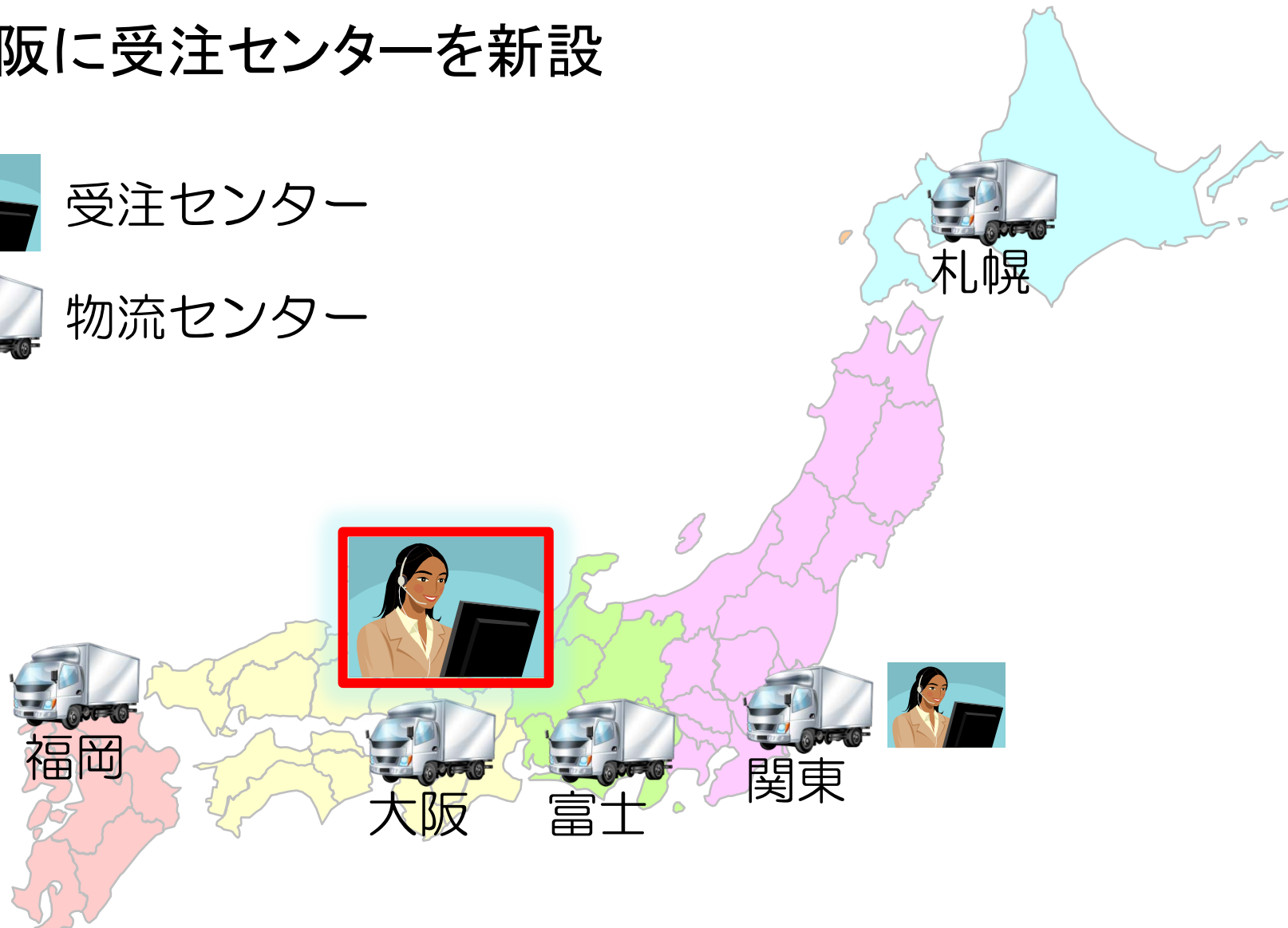
■ 大阪に受注センターを新設



受注センター



物流センター



札幌



福岡



大阪



富士



関東

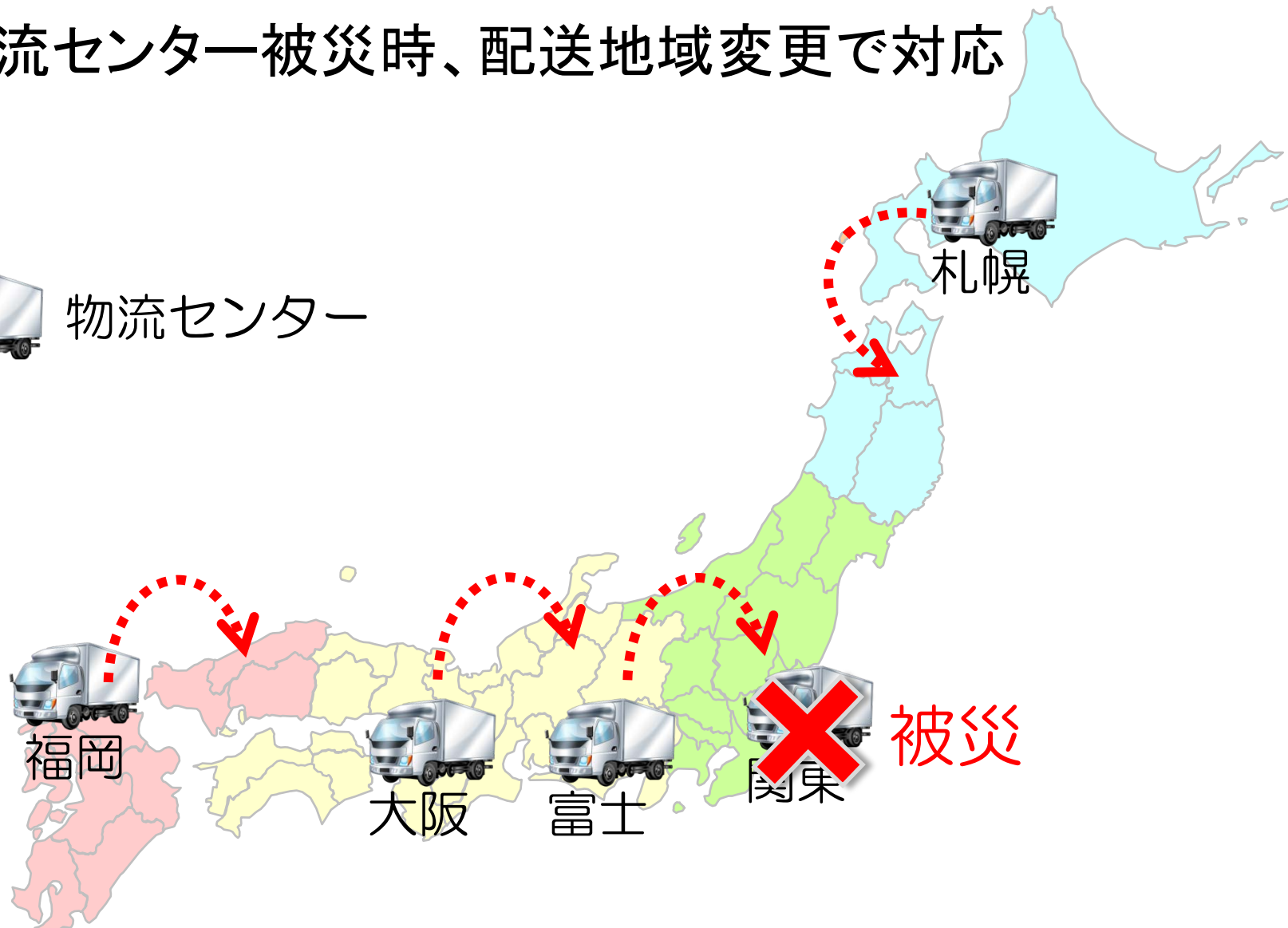


災害時の物流計画の策定

■ 物流センター被災時、配送地域変更で対応



物流センター



山口工場の設立

■ 操業開始：2015年春（予定）



- 国内の東西リスク分散
- カテーテル、疼痛緩和製品ドラッグ&デバイス
- 高付加価値部材の海外供給
- 営業活動への活用

海外生産の拡充

■ ベトナム

- カテーテル商品の生産増強のため新棟建設



■ フィリピン

- シリンジ・針などホスピタル商品増産のため新棟建設へ



グローバル生産体制で安定供給を目指します



2012年3月現在

震災復興
「医療を止めない」

<主な高シェア商品>



注射器



注射針



輸液ポンプ



ガイドワイヤー



人工心肺装置



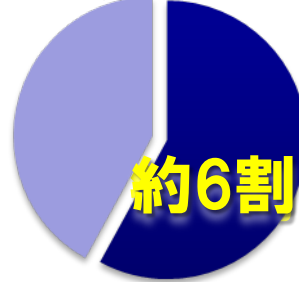
血液バッグ



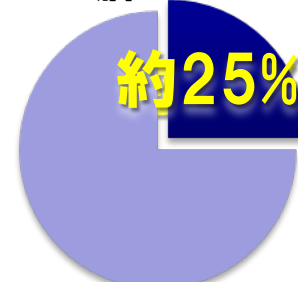
《欧米》
成分採血装置



《日米欧》
イントロデューサーキット



《日米欧》
脳コイル



「医療を通じて社会に貢献する」

私たちは、この企業理念を大切に守り

成長を続けます

 **TERUMO**[®]
人にやさしい医療へ